

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

かき
埼玉南部花卉生産組合

明治26年3月に設立され、現在は石神、新井宿、戸塚、神戸、道合、根岸、赤山、新郷・安行支部の合計8支部106人の会員を擁し、都内で行われる「関東東海花の展覧会」に出品するなど、さまざまな活動を通して川口の花弁をPRをしている。県内でも有数の花卉生産団体「埼玉南部花卉生産組合」を岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさん新年あけましておめでとうございます。いよいよ平成23年が始まりました。今年もいい年、そしていいまちにしていきたいと思っていますので、ぜひ今年一年よろしくお願ひいたします。1月の市長のふれあい訪問は、埼玉南部花卉生産組合のみなさんです。どうぞよろしくお願ひします。

初めに組合長の深井さんにお聞きしますが、埼玉南部花卉生産組合の結成はいつ頃ですか。

深井 組合の発足は明治26年3月26日といわれています。

市長 かなり古いですね。

浅見 120年もの歴史がありますからかなり古いです。

市長 南部花卉生産組合では具体的にどのようなものを生産しているのですか。

栗原 赤山の枝物の生産や、市の花の鉄砲ユリなどの切花を温室で栽培し、出荷しています。

福島 「川口市花の文化展」などのイベントなどにも出展しています。



市長 生産地は川口が主なのですか。

栗原 開発が進み、周りが住宅地になってきているので、生産場所を県外へ移している人もいます。出荷時期に合わせて栽培するために、軽井沢などの寒いところに土地を借りている人もいます。

市長 それはどうしてですか。

浅見 早く咲かせる場合は、花に寒さを感じさせないと早咲きしません。そのため高冷地で育て、こちらに持ってきて温室で温めてあげることにより早く咲くのです。

市長 なるほど。ところで枝物とはどのようなものですか。

深井 枝物は、花の咲く木の枝です。

市長 オランダで10年に1度、国際的な花の万博「フロリアード」が開催されますが、枝物も屋内コンテストで1位を取りましたよね。

深井 1992年にアカメヤナギで1位になりました。

市長 来年また開催されますので、楽しみにしています。今、川口は都市農業の再生・振興に取り組んでいます。何か問題点がありますか。

福島 収入と固定資産税のバランスが悪いので後継者が育たない状態になっています。

市長 固定資産税のほうが生産額よりも高いと経営を続けていけないですね。これからも国に対してしっかりと要望を行っていきます。

の部分で切ったもので、生け花でいいますと真ん中にくる芯になるものです。例えばナンテンや口ウバイなどです。

市長 現在組合員は何人おられるのですか。

福島 106人です。最盛期の昭和15年には320人くらいいました。

市長 今、枝物・赤山切花とよく言われますが、枝物・切花の歴史は、どの時代までさかのぼるのですか。

深井 江戸時代、赤山の岩橋太郎兵衛という方が始めと聞いています。

市長 これからもご意見を伺いながら、我々も頑張っていきたいと思えます。最後に今後の抱負などをお願いします。

深井 赤山の枝物・切花は全国的にも有名です。しかし、花を生ける人が少なくなっています。そこで、小学校の授業などで、一輪でも花を生けることを教え、花を生ける素晴らしさを知ってもらうことで、小さいときからそういう気持ちを持っていていただければと思います。

市長 そういう気持ちがあれば心も穏やかになりますね。今日はありがとうございます。それでは今年一年大いに頑張ってください。ありがとうございます。



浅見 我々もいつまでも元気ではいられないので、次世代を考えた制度的な見直しをよろしくお願ひします。